

生涯学習振興・社会教育関係職員等研修 基礎研修

生涯学習振興・社会教育 関係職員の役割等

【ねらい】

これからの生涯学習振興・社会教育関係職員等に
期待されている資質・能力について理解する。

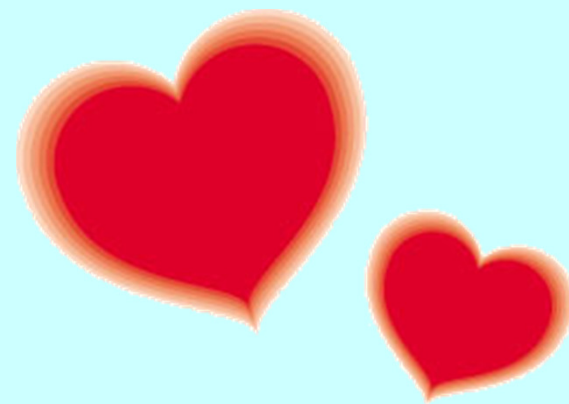
期待されている資質・能力

コミュニケーションの能力

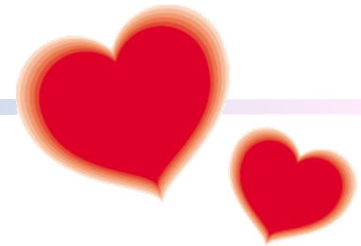
学習課題の把握と

企画立案の能力

コミュニケーションの能力



コミュニケーションの能力

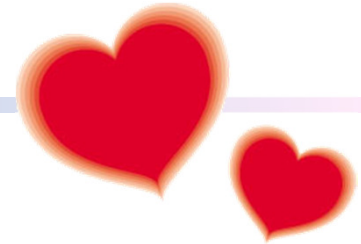


円滑なコミュニケーションをとるためのポイント

①自分を相手に伝える：自己開示

- 自分が何を考え感じているのかを相手に伝えること。
- 内容，タイミング，応対が大切

コミュニケーションの能力



円滑なコミュニケーションをとるためのポイント

② **言いたいことを伝える**

:アサーション

- **自分も相手も尊重しながら自己表現
すること。**

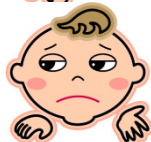
コミュニケーションの能力



3つのコミュニケーションスタイル



受け身スタイル



攻撃的スタイル



アサーティブなスタイル

【例1】講座の後で、「相談があるので、この後少し時間をとってもらえないか？」と地域住民に呼び止められた・・・（しかし、次の予定の時間が迫っている！）

こんな時あなたならどのような対応をしますか？

コミュニケーションの能力



受け身スタイル 「わかりました。いいですよ」

自分の感情は押し殺して、相手に合わせるようなやり方。



攻撃的スタイル 「忙しいから無理です」

自分のことを中心に考え、相手のことはまったく考えないやり方。



アサーティブなスタイル

自分の気持ちや考えを相手に伝えるが、相手のことも配慮するやり方。

「今日は予定があって難しいですが・・・〇〇なら時間がありますか？」

「困っていらっしゃるようですね。実はこの後の予定があるのですが、変更できるか確認してみますので少し待っていただいてもいいですか？」

コミュニケーションの能力



【例2】子供連れのお母さんを対象とした講座が終わった公民館。子供たちが走り回っていて、にぎやかな状態に。お母さんたちも注意をするのですが、話も盛り上がっていて、まだ子供たちは走りまわっています。これから高齢者の方が集まる講座が始まるので、できれば退席してもらいたいのですが…

こんな時あなたならどんな対応をしますか？



アサーティブなスタイルを意識して、
(自分も相手も尊重しながら自己表現をする) **対応してみましよう！**

グループで意見を交流しましよう！

コミュニケーションの能力



円滑なコミュニケーションをとるためのポイント

③相手の話をうながす

●「うなずき」・「あいづち」 傾聴の姿勢

- ・聞いてもらっていると思えるから安心して話ができる。
- ・「聞いているよ」というメッセージを伝えることが大切。

●「閉じられた質問」・「開かれた質問」

閉じられた質問【例】「元気ですか？」

⇒はい、お蔭様で。

開かれた質問【例】「最近どうですか？」

⇒実は最近、犬を飼い始めまして・・・

コミュニケーションの能力



●「言い換えのオウム返し」 傾聴のスキル

例:「神戸に買い物に行って、中華街でたくさん食べました！」

返答:「おなかいっぱい中華を食べられたんですね。」

練習: 相手が次のような話をしたら、どう返しますか？

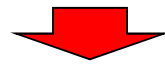
「今度、温泉旅行に行くのですが、ちょっと奮発してわりと値段のよさそうな宿をとったんです。でも、たまにだからね。温泉に入ってゆっくりするつもりです。」

コミュニケーションの能力



練習: 相手が次のような話をしたら、どう返しますか？

「今度、温泉旅行に行くのですが、ちょっと奮発してわりと値段のよさそうな宿をとったんです。でも、たまにだからね。温泉に入ってゆっくりするつもりです。」



返答の例としては、次のようなものが考えられます。

- ・「素敵な宿をとって、ゆったりするのですね。」
- ・「ときどきエイヤって高い宿に泊まるのも楽しいですよね。」
- ・「グレードの高い宿だと時間を忘れてしまうぐらいリラックスできそうですね。」

コミュニケーションの能力



円滑なコミュニケーションをとるためのポイント

①自分を相手に伝える：自己開示

②言いたいことを伝える

：アサーション

③相手の話をうながす

学習課題の把握と

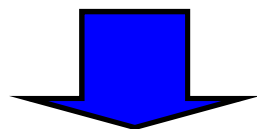
企画立案の能力



学習課題の把握と企画立案の能力



地域の問題



学習課題

学習課題の把握と企画立案の能力



地域の問題

【例】防災の必要性について、住民同士で話題になることが多いが、具体的にどうすればよいか分からない。

学習課題

3つの視点

知らないことを知るようになる

【例】住んでいる地域の災害危険区域を専門家と一緒に歩き、危険箇所を知ろう。

できないことができるようになる

【例】災害を想定した避難訓練を実施することによって、住民が避難場所へ時間内に避難できるようにしよう。

意識を変える

【例】防災について、住民同士で気軽に話をしあえる人間関係を構築しよう。

住民自らが、学びを通して地域の問題・課題を解決していけるようになるために、「学習」の場を作っていく。

~~地域に防災センターを建設し、専門家が24時間相談に応じたり、災害発生時に駆けつける。~~

↑
「社会教育」では解決できない？

学習課題の把握と企画立案の能力



地域の問題 地域の中にはどんな「問題」があるでしょうか？

①地域をよく見つめて、地域の中の様々な問題(地域の住民が困っていること)をなるべくたくさん挙げてみましょう！(箇条書きで結構です。)

②様々な地域の問題について意見交流し、グループで一つ選択してください。



学習課題 「地域の問題」を解決するためには、地域住民がどんな力を身に付ける必要があるでしょうか。どんな学びが必要になるでしょうか？

③(グループで一つ選択した)

「地域の問題」を解決するための 学習課題を把握してみましょう。

知らないことを知るようになる
できないことができるようになる
意識を変える

解決策

学習課題の把握と企画立案の能力



どんなアイデアが出ましたか？

ぜひ紹介してください！

学習課題の把握と企画立案の能力



●社会の変化が激しく、地域の問題が多様化する中で、**幅広い視野と探究心**が必要。

●学習課題を設定する際の3つのポイントのうち、特に「**意識を変える**」ことが重要。

ふりかえり

●研修を終えて、研修に期待していたことを得ることができましたか、また、仕事を進めていくうえで、どのように役に立つと思いますか？

●今後、仕事を進めていくうえで、御自身が、さらに学び続けていきたいこと、または、新たに身に付けていきたいことは？

参考資料・文献

- ①『新訂生涯学習概論ハンドブック』平成23年，国立教育政策研究所社会教育実践センター
- ②『生涯学習支援実践講座 生涯学習コーディネーター研修 テキストⅢ コミュニケーションの仕方の理解』，平成21年，社会通信教育協会
- ③『生涯学習支援実践講座 生涯学習コーディネーター 新支援技法 研修 テキストⅡ 地域におけるネットワーキングと課題解決型学習の技法』，平成26年，社会通信教育協会
- ④『平成21年度社会教育活動の実態に関する基本調査事業
公民館の職員の研修に関する実態調査報告書』国立教育政策研究所社会教育実践センター
- ⑤「ダイレクトコミュニケーション」HP 平成27年4月23日参照